

平成24年度

支笏洞爺ニセコルート活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
来訪者をもてなすウェルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討	1	-	-	-	-	-	-	
	エリアマップの作成	2	-	-	-	-	-	-	
	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	神仙沼周辺の沿道の清掃活動	3	共和町神仙沼周辺 パノラマラインの清掃活動	共和町商工会青年部	平成24年6月11日 平成24年9月21日	各10名(主催者側10名)		景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて景観づくりに関する検討を継続している。各地域で子ども達と一緒に活動が目立っている。
		花と緑の植栽	4	綺羅街道沿道植栽	NPO法人ニセコまちづくりフォーラムほか	平成24年5月26日、27日	120名(主催者側40名、一般参加80名)		
			5	フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	平成24年6月3日	100名(主催者側20名、一般参加80名)		
			4	花いっぱい運動	留寿都村観光協会、るすつWAO、留寿都高校他	平成24年5月31日、6月10日	100名(主催者側20名、一般参加80名)		
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去	5	「羊蹄山麓広域景観づくり」と協働で検討	エリア全体	継続検討中	-		
	果樹園などの田園景観を整える	花による沿道の演出	6	沿道美化活動	そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会	平成24年度	30名		洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	ウェルカムゲートの整備促進	7	恵庭岳公園線植えるカム花ロード	えにわシーニックプロジェクト	平成24年6月1日	約120名(主催者側15名、一般参加105名)		おもてなしの心を持って沿道を彩る花植え活動や清掃活動などを行い地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に千歳ウェルカム花ロードでは、活動10年目を記念し植栽と除草以外にこれまでの総括と今後の活動継続を目的とした様々な取り組みを実施した。札幌駅前通地下歩行空間での活動10年の歴史を紹介する特別展示(5/18~25)、協力団体等への感謝状贈呈(6/13)、「全国花まちづくり大会(H24は札幌市主催)」市民ホールでのパネル展参加及び同大会バスツアーで活動紹介(6/29、30)、千歳市内小学校2校で特別授業開催(5/24、7/11)。今後も、教育プログラムとの連携や企業や地域の理解を深める広報活動を展開し、地域連携の輪を広げ活動継続、景観向上と地域作りに取り組んでいく。
			8	ここからはじまる北海道千歳ウェルカム花ロードver.10	千歳ウェルカム花ロード実行委員会(社団法人千歳青年会議所)	平成24年5月29日、7月27日ほか	植栽415名(主催者側150名、一般265名)、除草150名(主催者側45名、一般105名)	S W 1	
景観	河川周辺の清掃や管理	9	尻別川周辺清掃(草刈等)	京極町景観を考える会	平成24年8月8日	延べ50名(主催者側50名)		景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて景観づくりに関する検討を継続している。また、京極町においては、今年度から地域協働の取組として官民連携によるビューポイントパーキング周辺草刈りが試験的に行われた。	
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川景観の保全と河畔林の創出	10	尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつパーネット、蘭越町	平成24年6月23日	300名(主催者側50名、一般参加250名)		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
	散策路・フットパスの整備	11	フットパスウォーク2012 in 真狩村	NPO法人しりべつりパーネット	平成24年10月3日	48名(主催者側10名、一般参加38名)		
エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		12	「羊蹄山麓広域景観づくり」と協働で検討	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会	継続検討中	—		「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」にて4つの検討部会を中心にそれぞれの情報共有・情報交換等が行われている。
洞爺湖に彩を添える	洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	13	MOVE洞爺湖2012～洞爺湖畔のゴミ拾い、彫刻清掃	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成24年4月29日	330名(主催者側30名、一般参加300名)		洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
	花と緑の植栽	14	MOVE洞爺湖2012～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成24年4月29日	330名(主催者側30名、一般参加300名)		
	洞爺湖1周(国道230号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)の清掃活動	15	1008 453(とうや よごさん)キャンペーン	支笏洞爺ニセコルート洞爺エリア代表 藤盛元	H24年9月8日	60名 主催者側58名 一般参加2名	S T 1	
温泉街らしさを演出する	湯煙のあるまちづくりの推進	16	洞爺湖温泉夏祭り	洞爺湖温泉観光協会	平成24年7月28日～8月18日	—		
		17	洞爺湖温泉薬師の日「湯かたまつり」	洞爺湖温泉観光協会、洞爺にぎわいネットワークほか	平成24年11月16日～2月17日	—		
		18	洞爺湖温泉冬まつり	洞爺湖温泉観光協会	平成25年2月5日～11日			
北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	河川や湖面、沿道の清掃(*清掃活動の推進)	19	453(エコサン)530(ゴミゼロ)キャンペーンin支笏湖	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成24年5月30日 平成24年9月28日	約120名(主催者側5名 一般参加者115名)		おもてなしの心を持って、沿道の清掃活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。今年度は、企業・団体等の協力により参加者が50名ほど増加。今後も引き続き、現在の活動を継続しつつ、エリアの特徴を活かした景観の向上を目指していく。
	音楽コンサートの開催	20	くっちゃん雪トピアフェスティバル2013	くっちゃん雪トピアフェスティバル2013実行委員会 他	平成25年2月16日～17日			
	地域資源の発掘・活用	21	教育環境プログラム「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、倶知安町立東小学校3年生 他	平成25年2月			
歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催	22	実施せず	—	—	—		後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
	音楽コンサートの開催	23	実施せず	—	—	—		
	地域資源の発掘・活用	24	タカラモノプロジェクト1012	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成24年度	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート		報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清					報告年月: 2013/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
	地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成	25	支笏湖マップ増刷・配布	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成24年度			千歳市の協力をえて、支笏湖マップを増刷、支笏湖内はもとより、新千歳空港での「北海道魅力発見博」や、地下歩行空間にて配布・周知を行った。
		歴史や文化的資源も含めた地域資源の発掘と活用	26	-	-	-	-		
		タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘	27	-	-	-	-		
	エリアの資源の発掘と保全活用	地域資源マップの作成	28	タカラモノプロジェクト(継続検討中)	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成24年度	-		地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。今年度は「タカラモノプロジェクトモニターツアー」として試行実施。
			29	「ぐるっと洞爺湖MAP(マップ)」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成24年度	-		「世界ジオパーク」認定や洞爺湖温泉誕生100年を記念する各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っていく必要がある。今後のさらなる検討が必要。
	地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進	30	各自治体での清掃活動	ニセコ羊蹄エリア全域	平成24年度	延べ500名程度(各50~70名)		環境教育プロジェクトとして、小学生が参加した廃油を活用したキャンドル作りなど、新しい取り組みも展開している。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討	31	「恵み野花マップ」の制作による地域ブランドのPR	社団法人恵庭観光協会発行(えにわシーニックプロジェクト企画)	平成24年度(春季)	-		花の町恵庭の「花」を地域ブランドとして継続して情報発信している。今後も、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作	32	-	-	-	-		-
		コミュニティビジネス研究	33	-	-	-	-	-	
	地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	34	ニセコ農観連携協議会主催の第2回ニセコ町地域コンシェルジュ人材育成講座	ニセコ農観連携協議会(NPO法人しりべつりパーネット)	平成25年1月25日、26日	30名(主催者側10名、一般参加20名)		江差町歴まち商店街協同組合理事長である室谷元男氏をお招きして、ニセコ羊蹄エリア及び真狩村の賑わいを考えるセミナーを開催した。
			35	「えにわ市民プラザ・アイル」における情報発信	えにわシーニックプロジェクト	平成24年4月1日~3月31日	-		恵庭の市民が集まるコミュニティの場。パイウェイの配布など、シーニックの魅力や寄り道情報について発信。今後も様々な機会を通じて、シーニックのPRを図っていく。
地域	エリアの人材育成	子供を対象とした講座・ツアーの開催	36	世界ジオパーク 昭和 新山登山会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成24年4月21日	各60名(主催者側20名、一般参加40名)		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。
		エリア人材登録制度の検討	37	洞爺湖有珠火山マイスター養成講座	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会外	平成24年8月31日、9月1日	100名(主催者側20名、一般参加80名)		
		タウンミーティング・フォーラムの開催	38	洞爺湖有珠山ジオパーク 洞爺湖中島散策会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成24年10月20日	各25名(主催者側10名、一般参加15名)		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進・活動参加のしくみづくり	39	-	-	-	-	-	-
	各研修会などの開催	40	-	-	-	-	-	-
	タウンミーティングの開催	41	-	-	-	-	-	-
	Co2削減	42	-	-	-	-	-	-
	自然環境学習・教育プログラム(小学校での特別授業)	43	ここからはじまる北海道 千歳ウェルカム花ロードver.10 特別授業①②	社団法人 千歳青年会議所	平成24年 ①5月24日 ②7月11日	①85名《主催10名、小学生他75名》 ②75名(主催10名、小学生他65名)		地域の美しい沿道景観づくりを通して北海道を訪れる方へのおもてなしの心の育成を図るウェルカム花ロード活動について、今年花植え参加予定の3年生を対象にした事前授業と、昨年参加経験のある4年生を対象にした事後授業を実施。活動の歴史と意義を伝える講義、花の扱い方に関する講義のほか、ワークショップを通じて、活動からひろがる地域内外のつながりを理解し、周辺環境や郷土への関心や愛着心を高めながら、活動への理解と協力、参加意欲を高める取り組み。従来は花植え体験がメインであったが、授業によって活動や地域への理解や関心が非常に高まったことが実感できたので、今後もこのような教育プログラムと体験を組み合わせた取り組みを継続し、景観活動を地域づくり、人材育成に発展していくことが有効である。
エリア産業の活性化	コミュニティビジネスの研究	44	実施せず	-	-	-	-	-
	地産地消の推進	45	[胆振の国(いぶりのくに)]食ブランド化プロジェクト	ゆったリズム体験倶楽部、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖温泉観光協会	継続中	-	-	第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。
		46	洞爺湖有珠山ジオパーク「フードパス」	NPO法人そうべつ観光協会	継続中	-	-	
		47	そうべつりんごまつり	そうべつくだもの村外	平成24年10月7日	約10,050名(主催側50名、一般参加10,000名)	-	
	保養型温泉観光の推進	48	健康保養型観光の推進	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 そうべつ観光協会 他	平成24年度	-	-	
	体験型農業の推進	49	壮瞥町移住体験ツアー募集事業	そうべつくだもの村 NPO法人そうべつ観光協会 胆振支庁	平成24年度	-	-	
	ワンストップサポート事業の推進	50	ワンストップサポート事業の推進	NPO法人洞爺にぎわいネットワーク	継続中	-	-	
農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食(農産物)の活用と売り込み	51	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の開設	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、倶知安町 他	(通年営業)	-	-	
		52	「いなかのおもいやり(缶詰)」の販売	NPO法人きもべつWAO	-	-	-	
ファームイン・体験農園との連携の検討	食をテーマにした特産品の開発・地域連携の推進	53	-	-	-	-	-	-
	54	北海道魅力発見博での地域食PR	エリア代表者会議	平成24年7月14日～22日			新千歳空港のイベント「北海道魅力発見博」にて、地元企業・団体等と連携し、地域の特産品をPR。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	エリア企業との連携による魅力づくり	55	えにわシーニックナイト	えにわシーニックプロジェクト	平成25年2月9日			活動を続けてきたことで、市民、学生、PTAや企業が連携した、町ぐるみの活動に成長してきた。今後も、引き続き、参加団体も、来てくれる観光客のみなさんも楽しめる活動として継続していく。	
エリアのきめ細かな情報の発信	ホームページでの情報発信	56	イベント情報等の発信	洞爺湖温泉観光協会、NPO法人そうべつ観光協会ほか	継続中	-		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。	
	ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	57	ニセコガイドブック「3W NISEKO」発行	国際の会	-	-			
	エリアのホームページの作成	58	FaceBookを活用した情報発信	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成24年度開始	主催側11名(管理人) 閲覧者145名			
エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	観光コミュニティバスの実験運行	59	-	-	-	-			
	ホームページの作成	60	FaceBookを活用した情報発信	ルート代表者会議	平成24年12月1日			エリアの周遊性を高める情報発信として、平成24年度より、情報発信の仕組として個人が繋がり、そのネットワークを活かすFacebookの活用を開始。今年度は、ルートのFacebookを立ち上げ、情報発信を開始。各エリアの地元ガイドさんなどと連携し、地域の旬の情報発信を試みている。	
	エリアの周辺の検討	エリアの周辺の検討	61	南しりべし道の駅スタンプラリー	エリア代表者会議	平成24年度	-		地域の最新情報をもっと多くの人に知ってもらうため、南しりべし地域限定の道の駅スタンプラリーを開催。南しりべし地域の一部は、ニセコ羊蹄エリアとなっており、当該エリアとも連携。
				国道230号通行止めにもなう情報発信	NPO法人きもべつWAO他	平成24年度	-		国道230号の通行止めの影響による観光客の減少を考慮して、地域周遊を促進するため特産品や観光施設を紹介するチラシやスタンプラリーを実施。
				後志観光連盟道内プロモーション「おいしいしりべし旬PR」事業	株式会社ニセコリゾート観光協会ほか	平成24年9月7日、8日	-		しりべしの旬の食情報が満載のNewパンフレットの配布やシーニックパネル展の実施。
	トレジャーハント等の実施	62	トヨタレンタリースと支援センターが連携して実施したアクアのトレジャーハントへ情報提供	エリア代表者会議	平成24年度	-		今後も、全道展開の企画等へ積極的に情報発信を行い、地域の宝を磨き、訪れていただく仕組みに参加していく。	
	『夏休み特集号 寄り道ドライブで感動・体験 自由研究のヒント』の作成・配布				支笏洞爺ニセコルート ウェルカム北海道エリア、札幌シーニックバイウェイ、札幌開発建設部他	平成24年6月～8月	-		隣接するルート「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」と札幌開発建設部、札幌市、千歳市、恵庭市と協力し、地域協働で実施している沿道景観保全活動の紹介とルート内イベント・体験・施設情報をまとめ、『夏休み自由研究のヒント』として企画、情報ガイドブックとして作成し、ルート内小学校や図書館、札幌駅前通地下歩行空間、シーニックイベント(新千歳空港イベント等)等で配布した。今後も、ルート内及び周辺の魅力ある地域資源を繋げ、周遊してもらう工夫をし、地域に人が入ってくるような企画を今後も継続的に実施したい。
マップ・パンフレットの作成	63	「洞爺湖周辺ガイドマップ」の作成			平成24年度	-			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	物産展の開催	64	そうべつりんごまつり	そうべつだもの村外	平成24年10月7日	約10,050名 (主催側50名、一般参加10,000名)		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。
		ホームページやエリアマップなどでの情報発信	65	イベント情報等の発信	洞爺湖温泉観光協会、NPO法人そうべつ観光協会ほか	継続中	—		
	地域とのふれあいを大切に観光の推進	地域の歴史など基づいたツアーの開催	66	実施せず	—	—	—		
		地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	67	エキノコックス公開講座	NPO法人しりべつりバーネット、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会他	継続中	60名(主催者側10名、一般参加50名)		ニセコ羊蹄エリアを中心として広域展開されてきたエキノコックス駆除活動に今年度新たに真狩村が参画し、シーニック団体であるしりべつりバーネットが事務局を務めて公開講座を開催した。
		ふれあいのある体験ツアーの企画開催	68	ニセコ湯めぐりパス	ニセコリゾート観光協会	継続中	—		
		シーニックデッキ・カフェの設置	69	シーニックデッキ「八幡」	ニセコ羊蹄エリア代表者会議認定	平成24年度	—	S N 1	
		シーニックバスの運行	70	実施せず	—	—	—		
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催	71	洞爺湖ロングラン花火大会フォトコンテスト	洞爺湖温泉観光協会	平成24年8/1~8/31 (募集期間)	—		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。
		エコミュージアムの情報発信	72	ホームページ等によるWeb情報媒体を活用した情報提供	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか	継続中	—		
		エコミュージアムガイドブックの発行	73	ホームページ等によるWeb情報媒体を活用した情報提供	洞爺湖周辺地域ジオパーク推進協議会 他	平成24年度	—		
エコミュージアムツアーの企画・運営		74	ジオツアー 有珠山学習会 一有珠新山・大有珠巡り	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成24年5月26日	35名(会員15名、一般参加20名)			
	75	初夏のオロフレ山 自然保護学習登山会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成24年7月8日	25名(会員10名、一般参加15名)				
エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	76	サンセットコンサートの開催	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	サンセットコンサート 平成24年7月28日(土)	100名		引き続き、景色の魅力を活かしたイベント等と実施し、エリアの魅力を発信していく。	
		77	えにわシーニックナイト	えにわシーニックプロジェクト	平成25年2月9日	約3000人+ α (主催側1000人 一般参加者2000人+ α 沿道通行者)			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
エリア連携によるふれあい観光の推進	ルートを対象としたイベント・ツアーの企画・実施(シーニックナイト～あかりといっしょにところがゆれた～)	78	支笏湖 雪あかりの散歩道	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成25年2月2日、3日	約900名(主催側6名) 一般参加者(約900名)		エリアの魅力を発信する広域連携イベントとして、それぞれの地域で、地元と連携した冬期イベントを継続している。今後も引き続き、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、魅力的な冬季イベントとして、全道で連携した情報発信に力をいれるなど、北海道の冬季観光の魅力の1つとしての発展を目指す。
イベントの企画・運営		79	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	洞爺湖温泉観光協会	平成24年11月1日～平成25年3月31日	—		
		80	TOYAKOマンガ・アニメフェスタ2012	TOYAKOマンガ・アニメフェスタ事業推進委員会(洞爺湖温泉観光協会ほか)	平成24年6月23日、24日	約30,000人		
「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	おもてなしイベントの実施	81	有珠山頂夜まつり	有珠山ロープウェイ(NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか)	平成23年7月20日、21日、27日、28日、8月3日、4日、10日、11日	—		「世界ジオパーク」として登録された「洞爺湖有珠山ジオパーク」が有する洞爺カルデラや有珠山などに代表される地質遺産や、雄大で美しい自然遺産、さらに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的に活用した地域振興・観光振興、人材育成等が期待される。
	湖畔カフェの設置	82	洞爺湖マルシェ 湖畔カフェ	洞爺湖温泉観光協会	平成24年4月29日～10月31日	—		
人材育成のための研修会などの開催		83	「胆振の国(いぶりのくに)」食ブランド化プロジェクト	ゆったりリズム体験倶楽部、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖温泉観光協会	継続中	—		
		84	洞爺湖有珠山ジオパーク「フードパス」	NPO法人そうべつ観光協会	継続中	—		
シーニックバスツアーの企画・運行		85	実施せず	—	—	—		洞爺湖周辺エコミュージアム構想に加え、平成20年10月に新たに『洞爺湖有珠山ジオパーク』(世界地質遺産)国内候補地に決定したことで、豊かな自然や地質遺産を活用したジオツーリズムなどの普及拡大を通して、北海道洞爺湖サミット開催地としての知名度向上を追い風にしたニューツーリズムの振興が期待される。
エリアの資源を活用した複合ツアーの企画		86	洞爺湖周辺地域エコミュージアム・ジオパークツアー	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成24年度	—		
イベントの企画・運営		87	洞爺湖温泉ウインターキャンペーン	(社)洞爺湖温泉観光協会	平成24年度	—		
「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	温泉街ガイドブックの発行	88	「洞爺湖周辺ガイドマップ」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成24年度	—		
	おもてなしキャンペーンの実施	89	旬の食材を味わう洞爺湖「食」の四季キャンペーン	洞爺湖温泉観光協会	平成24年度	—		
	シーニックデッキの設置	90	実施せず(検討中)	洞爺湖エリア代表者会議	平成24年度	—		
人材育成のための研修会などの開催		91	世界ジオパーク講演会の開催	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成24年1月18日～3月31日(開催期間)	—		
ルートを対象としたイベントの企画・実施(シーニックナイト2013～あかりといっしょにところがゆれた～)		92	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2013」	シーニックナイト2013実行委員会 他	平成25年2月2日～2月26日	約4,000名(主催側1,000名、一般参加3,000名)		各地での取り組みが多様化するなど地域の取り組みとして着実に浸透してきている。平成24年度は、全道の灯りに取り組むルートに声かけを行い、地下歩行空間等でのPRのほかFacebookによるプロモーションを実施した。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
ルートを対象としたツアーの企画・実施		93	支笏洞爺ニセコ “タカラモノプロジェクト” (平成24年度は試作メニューの開発)	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議	平成25年3月12日	10名		支笏洞爺ニセコルート内で、これまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに『光』をあて、“新たな付加価値”をつける。宝ものプロジェクト。平成24年度はさらなるメニューの開発(野草の活用、牛骨の利用、その他)とイベント時の試食やレストランでの試行的提供を行った。今後も引き続き、地域の宝を探し、磨くことをルート全体で取り組む予定である。
エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進～シーニックの森づくりの推進～		94	エキノコックス駆除活動	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会・倶知安町、京極町景観を考える会・京極町、らんこしWAO・蘭越町、NPO法人きもべつWAO・喜茂別町、ニセコ町、真狩村 他	平成24年度 (継続事業)	各20名程度 (自治体毎に毎月1回ペイト散布)		環境に配慮した取り組みとして「エキノコックス駆除活動」がエリア全域に拡大しており、今後の広域的な展開に向けた方針や方向性の再検討が必要。

『千歳ウェルカム花ロードver.10』

【概要】 千歳ウェルカム花ロードは、年間約1600万人が利用する北海道の空の玄関口新千歳空港の町として、平成15年に(社)千歳青年会議所が中心となり「ここからはじまる北海道～みんなでつなぐ花の道～」をテーマに、美しい景観づくりを通じて子供達の『おもてなしの心』を育成する活動として今年で10年目を迎えた。小学校、地域企業、市民ボランティア、花植え団体、航空自衛隊千歳基地、地域行政機関へと協力連携の輪が広がり、10年間で総勢5千人が参加、20万株を植えた。

10年間の総括となるH24年度は、空港周辺5kmに2万7千株を植栽、更なる継続をめざして、その前後に小学校2校で約130名の児童を対象に花ロード特別授業（活動と地域内外のつながり、郷土の魅力を考えるワークショップ）を実施。さらに、札幌駅前通地下歩行空間でPR特別展示、協力団体等への感謝状贈呈、地域の方々から150名が参加する一斉除草活動などを実施した。

【日時】 札幌駅前通地下歩行空間PR展示：平成24年5月18～25日、花植え：5月29日、花ロード特別授業：5月24日（緑小学校）、7月11日（千歳小学校）、感謝状贈呈式：6月13日、一斉除草：7月27日他

【場所】 千歳市（JR南千歳駅周辺、道道千歳インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）

【主催】 千歳ウェルカム花ロード実行委員会 **【参加人数】** 植栽415名、授業150名、除草150名ほか



1008 453(とうや よごさん)キャンペーン

- 【概要】 従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とおや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。
- 【日時】 平成24年9月8日(土) 14:30~17:30
- 【場所】 洞爺湖1周(国道230号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)
- 【主催】 支笏洞爺ニセコルート 洞爺エリア代表 藤盛 元
- 【参加人数】 60名(主催者側58名、一般参加2名)



【概要】ニセコ羊蹄エリアの景観の良い場所にデッキを設置し、ドライブ観光の旅行者に地域の美しい景観を楽しんでいただくとともに、地域の方々との交流・円滑な道路交通に寄与することを目的に、実施した取り組み。地域の団体は設営から撤去までを行うとともに、補修・ペンキ塗りなどの作業、管理を行った。今年度は、当箇所を含め、倶知安町内に3箇所設置した。

【日時】平成24年8月8日（水）

【場所】倶知安町八幡地区、くっちゃんマルシェゆきだるま、小川原脩記念美術館

【主催】NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会

【参加人数】約20名



倶知安町八幡地区駐車帯



小川原脩記念美術館



くっちゃんマルシェゆきだるま

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:洞爺湖エリア代表 藤盛 元	報告年月:2013/3/31
------------------	-------------------	----------------

活動団体 一般社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、大滝レンジャーズ、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会 (以上8団体)

ルート運営体制(活動団体) (1)洞爺湖エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。 (2)洞爺湖エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。
--

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議			● 6月29日 (第1回) 喜茂別	7月14日～22 千歳魅力発見 博参加				● 11月7日 (第2回)				3月12日 (第3回) 留寿都村	
エリア代表者会議											2月28日 (第1回) 壮瞥町		
シーニックナイト2013								← 事務打合せ → 地域内調整 →			2/12～2/26		
タカラモノプロジェクト2013							← 事務打合せ →		← 関係店舗との調整 →		● 2月2日:試行 実施 壮瞥町内	● 3月12日:試行 実施 ルスツリゾート	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2013/3/31
------------------	-------------	----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施										●(1/17-18) 関係行政機 関個別ヒアリン グ	2月28日(第 1回)壮瞥町		情報共有の強化、支援体制 の構築

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: ニセコ羊蹄エリア代表 熊谷 雅幸	報告年月: 2013/3/31
-------------------	-----------------------	-----------------

活動団体 共和町商工会青年部、京極町景観を考える会、国際の会、NPO法人きもべつWAO、村づくり研究会、NPO法人しりべつリバーネット、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ニセコマちづくりフォーラム、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、(株)ニセコリゾート観光協会、らんこしWAO、るすつWAO (以上12団体)
--

ルート運営体制(活動団体)
<p>(1)ニセコ羊蹄エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の共通意識の醸成やお互いの活動に対する理解を図るために、「ニセコ羊蹄エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。</p> <p>(2)ニセコ羊蹄エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。 ●ニセコ羊蹄エリア代表:熊谷 雅幸(らんこしWAO)</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議			● 6月29日 (第1回) 喜茂別	7月14日~22 千歳魅力発見 博参加				● 11月7日 (第2回)					
	エリア代表者会議					● 8月8日 (第1回) 倶知安町							● 3月1日 (第2回) 倶知安町	
	シーニックナイト2013								← 事務打合せ → 地域内調整			← 2/12~2/26 →		
	タカラモノプロジェクト2013							← 事務打合せ →		← 関係店舗との調整 →		● 2月: 試行実施 ニセコ町内	● 3月12日: 試行 実施 ルスツリゾート	

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 小樽開発建設部	報告年月: 2013/3/31
-------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施						●(9/28) 行政連絡会 議							

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
来訪者をもてなすウエルカムルートの創出 北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	北 ・「道道恵庭岳公園線植えるカム花ロード」 の主催及び協力	平成24年6月1日	・恵庭市 ・北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催 ・花苗等、物資の準備、運営を行う。 ・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして助成。4カ年限定の事業であったが、継続した支援体制を続けている。	・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携体制が築かれている。	1
	・「453・530(ヨゴサン・ゴミゼロ)キャンペーン」 のゴミ処理、清掃用具の提供等	平成24年5月30日 平成24年9月28日	・千歳市 ・札幌開発建設部 千歳道路事務所 ・支笏湖自然保護官事務所	・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加 ・ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・人的支援として、清掃活動に参加 ・人的支援として、清掃活動に参加 ・今後、環境の日や自然公園クリーンデイとの清掃活動の連携も考えられる		2
花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・「千歳ウエルカム花ロードver10」の運営支援 ①活動10年の歴史を振り返る特別展示 ②花ロード特別授業(千歳市立緑小学校) ③花植え ④活動10年記念感謝状贈呈式 ⑤花ロード特別授業(千歳私立千歳小学校) ⑥除草	平成24年 5月18日～25日① 5月24日②、29日③、 6月13日④、 7月11日⑤、27日⑥ ほか	・千歳市 ・札幌開発建設部 ・千歳道路事務所	・平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈り実施。 ・その他10年目の各種特別企画に関する協力支援 ・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。 ・活動全般に関する企画・運営支援、関係行政機関、団体等との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより国道36号の植樹マスへの植栽・草刈りを実施。 ・本活動が民間主導の運営体制となるよう、実施方法の見直しなどを図っていく。 ・花ロード活動の広報支援。全国花まちづくり大会でのパネル展示(札幌市民ホール)、活動10年特別展示(地下歩行空間)の企画・調整・実施 ・小学校による花ロード特別授業のコーディネートを実施 ・道道千歳インター線において、植栽活動を実施。 ・植栽後の維持管理が課題(小学生や地域との連携を考えたいが、安全面の問題があり難しい。現在も、月1回実施しており、行政側の対応としては限界という状況) ・企業参加及び一般参加者を増やす取組が必要。 ・その他10年目の各種特別企画に関する協力支援	・今後も、各行政機関連携のもと、活動団体の意向に対する調整や支援メニューの提案など、密な連携が望まれる。 また、今年度は10周年となる記念の年であったため、児童の思い出に残り、かつ、千歳市民を始め全道・全国へのPRとなる情報発信に努め、特別授業の実施や、地下歩行空間での展示などに取り組んだ。	3
エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去	-	-	-	-	-	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	地域資源の発掘と保全活用	-	-	-	-	-	
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	-	-	-	-	-	
観光振興	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	支笏湖マップ増刷・配布	平成24年度	・千歳市	・支笏湖の多言語マップの増刷協力		
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信		平成24年度	・北海道空知総合振興局札幌建設管理部	・ホームページトップページにおいて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載し、活動の周知に協力。	・昨年度開通した地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通じてルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施した。また、行政連絡会議の関係機関にヒアリングを実施し連携可能性を探り、札幌市主催の「花まちづくり全国大会」で千歳ウエルカム花ロードほかシーニックPRパネルの展示、札幌開建を中心に、札幌市・千歳市・恵庭市と札幌シーニックバイウェイ団体と協力して作成した、道路に関する啓発冊子『夏休み特集号』・自由研究のヒント』で活動紹介や見所・イベントをPRを行うなど情報発信を積極的に、地域内	6
			平成24年度	・北海道	・道路課のトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載。		
			平成24年度	・札幌運輸支局	・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載。		
			平成24年度	・札幌開発建設部	・H19年度より、さっけんホームページにおいてシーニックバイウェイ制度やルートに関する情報を掲載。		
	ルート連携によるふれあい観光の推進	・「シーニックナイト2013～灯りが繋ぐ雪の道」	平成24年度	・恵庭市	・ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」実施のための人的支援、メール配信。 ・市民活動支援制度えにわブークetsによる支援金の交付	・昨年度開通した地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通じてルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施した。また、行政連絡会議の関係機関にヒアリングを実施し連携可能性を探り、札幌市主催の「花まちづくり全国大会」で千歳ウエルカム花ロードほかシーニックPRパネルの展示、札幌開建を中心に、札幌市・千歳市・恵庭市と札幌シーニックバイウェイ団体と協力して作成した、道路に関する啓発冊子『夏休み特集号』・自由研究のヒント』で活動紹介や見所・イベントをPRを行うなど情報発信を積極的に、地域内	6
			平成24年度	・千歳市	・ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」実施のためのキャンドル費用を支援		
			平成24年度	・北海道石狩総合振興局地域政策課ほか行政連絡会議関係機関	・ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」の活動周知のための情報を掲載。(石狩の風景にて、実施の様子を掲載)。シーニックナイトのポスター掲示。		
			平成25年2月2日～2月26日	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部、千歳道路事務所、滝野すすらん丘陵公園事務所ほか	・ルート連携活動「シーニックナイト2013～あかりといっしょにころがゆれた～」において、取り組みの「後援」及びポスター・チラシの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2012/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	その他(他ルートとの連携)	『夏休み特集号 寄り道ドライブで感動・体験 自由研究のヒント』の作成・配布	平成24年7月～8月	札幌開発建設部、札幌市、千歳市、恵庭市	昨年、札幌開建が中心となり札幌シーニックで作成した小学生向けの冊子『夏休みの自由研究のヒント』を拡大し、ウエルカム北海道エリアが連携し、札幌、恵庭、千歳周辺でルートが沿道で取り組む景観形成活動等や夏休みに楽しめるルート内イベントや体験講習、地域の見所など情報をまとめた冊子を作成。2ルート連携により地域内外への広報とルート間周遊を促す。千歳市、恵庭市、札幌市南区の協力により小学校で配布したほか、札幌駅前通地下歩行空間、新千歳空港イベント等でも配布し広く活動をPRした。	外でルート認知向上をはかり、地域の人々の理解と関心を深めるために積極的に支援を行った。 ・今後も、行政機関等と連携し、活動団体と協働で企画や調整、参加、相談などの支援、情報発信、提供による支援も継続して行っていく。	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2013/3/31
--------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	洞爺湖に彩を添える	MOVE洞爺湖2012	平成24年4月29日	洞爺湖町	AIR'Gとの協力の下、洞爺湖町が洞爺湖温泉街の花壇整備・清掃活動を2001年から継続展開中。洞爺湖畔のゴミ拾い、彫刻清掃に加えて、花壇整備や桜の植樹を行っている。	・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携体制が築かれている。	1
地域	エリアの資源発掘と保全活用	ジオツアー 有珠山学習会 ー有珠新山・大有珠巡りー	平成24年5月26日	杜警町	有珠山学習会として有珠新山と大有珠山頂をじっくり散策するツアー。コース案内として友の会ガイド部会、火山マイスターメンバーが担当した。	取り組みの継続に向けた地域活動団体と連携した適切な維持管理体制の構築が必要。	2
	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推進	平成24年度	胆振総合振興局	胆振総合振興局は平成20年度より「洞爺湖有珠火山マイスター制度」を推進している。平成24年度は新たに2名が加わり現在23名がマイスターとして認定され活動しており、次第に活動の場が広がってきている。並行して実施している「洞爺湖有珠火山マイスター養成講座」も継続を予定している。		3
観光	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	「オールいぶり」によるビジットジャパンキャンペーンの展開	平成24年度(継続展開)	北海道運輸局 伊達市 豊浦町 洞爺湖町 杜警町	運輸局と連携し、北海道発別洞爺広域観光圏が中心となって、ビジットジャパンキャンペーン(以下、VJC)を展開し、観光・集客誘致に向けた取り組みを推進している。 VJCでは、海外のマスコミやエージェントに対して、また修学旅行等をターゲットとした各種PR活動を展開している。	当該管内では、「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会」を中心に自治体間や関係行政機関の連携が積極的に図られている。行政としては行政連絡会議や各種取り組みにおいて参加協力及び人的支援等による連携が図られている。	4
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	洞爺湖有珠山地域ジオパーク関連ツアー	平成24年度	杜警町	ジオサイトとなっている洞爺カルデラの中にある中島を散策する「洞爺湖中島散策会」ほか、有珠山、昭和新山を登山するジオツアーを開催。参加者は、さまざまな分野を学習し、壮大な火山活動が創った有珠山、洞爺湖等、ジオ・エコツアーを楽しんだ。		5
	イベントの企画・運営	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成24年11月1日 ～平成25年3月31日	洞爺湖町	今冬で7回目となるイベント。洞爺湖温泉にぎわい広場に延長約70mのトンネルを設置し、LEDなど約40万個の電球で飾る。		6
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	胆振を楽しむフリーペーパー「りーぶず」の発行	平成24年度	胆振総合振興局	観光情報メディアに取り上げられない地元の人がよく行くお店、地元の人だけが知っている観光スポットなど「隠れ家・穴場」情報を積極的に紹介するフリーペーパー。		7
	ルートを対象としたイベントの企画・実施	シーニックナイト2013～あかりといっしょにこころがゆれた～	平成25年2月2日 ～2月26日	胆振総合振興局 杜警町 洞爺湖町 室蘭開発建設部	シーニックバイウェイ北海道・支笏洞爺ニセコルートでの冬の夜を楽しむイベント、「シーニックナイト2013」。一般市民が多数参加し、キャンドルの火を灯すことにより、地域住民及び観光客に対して、広くシーニックバイウェイの取組をPRすることができた。各行政機関も後援などの形で支援を行っている。		8

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)		報告者:小樽開発建設部		報告年月:2013/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観形成	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出				・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立	
景観づくり	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討	平成24年度	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会 後志総合振興局	4つの部会(羊蹄の日の制定及び活動検討部会、景観法検討部会、案内標識検討部会、水辺景観づくり部会)に分かれて地域住民と協働で具体的な検討を進めている。	1
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	町民ボランティアの集い「まちをきれいにしよう」	平成24年5月	京極町	ゴミや空き缶を拾い集め、きれいなまちづくりを行うことを目的として、毎年5月に市街地の清掃活動を実施。	2
		「フラワーロード事業」の実施	平成24年6月3日	真狩村	継続の重要性を感じており、次年度以降も継続展開を予定している。しかし、球根の輸送代(オランダより輸入)や管理費や肥料代等が高いことが課題である。	3
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	「尻別川クリーン作戦」の実施	平成24年6月23日	蘭越町 小樽開発建設部 後志総合振興局	シーニック活動団体である、しりべつリバーネットが主催となり、清流日本一の尻別川の清らかな流れを守ることが流域全体の自然を大切にすることを目標として、カヌー等を使って清掃。作業終了後は地域との交流を図る交流会を実施。	4
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	雪トピアフェスティバル2013(実行委員会構成メンバーとして参加)	平成25年2月16日～17日	倶知安町	町と町民有志による協賛で開催し、自衛隊も全面的に協力してくれている。運営は雪トピアフェスティバル実行委員会。事務局は倶知安町役場商工観光課。今年もシーニックナイトとも連携したイベントとしてキャンドルを介した交流を行った。	5
	地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進	「シーニックナイト2013」への協力・参加	平成25年2月16日～平成25年2月26日	ニセコ羊蹄7か町村 小樽開発建設部、 小樽開発建設部倶知安道路事務所	ニセコ羊蹄エリアにおいて活動団体が存在する自治体では、地域活動団体が主体となって企画運営を行い、行政は人的支援や広報支援によるサポートを行っている。	6
	地域の人材の育成と活用	「羊蹄山麓広域景観づくり懇談会」の開催	平成25年3月8日	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会	「羊蹄山麓広域景観づくり指針」に基づき構成した「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」では、羊蹄山麓における広域景観づくりの情報を交換し、地域での取り組みの総意を形成する場として、毎年1回「羊蹄山麓広域景観づくり懇談会」を開催している。	7
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の開催 (通年営業)		[主催]くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会	平成21年4月、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会を中心として、倶知安町青年団体協議会、ようてい農協倶知安支所、倶知安商店連合会、倶知安観光協会、倶知安商工会議所のメンバーにより「くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会」を設立した。コンセプトは、地元の新鮮な農産物や特産品の紹介や販売による生産者同士あるいは生産者と消費者の交流の場をメインに、観光案内などの情報発信機能、憩いの場としての機能としても活用できる、地域に根ざした多目的空間の創出である。	8
	エリアのきめ細かな情報の発信	しりべしシステム事業との連携(HP等の媒体活用による情報発信)	平成24年度	後志総合振興局、 小樽開発建設部	「しりべしシステム」では、地域だよりとして各自治体からのイベント情報等を随時提供している。また、シーニックバイニセコ羊蹄エリアのサイトリニューアルについても、お薦め景観ポイントやシーニックイベント情報等の提供を検討中。	ほとんどの自治体において地域活動団体への金銭的な支援は直接できないが、自主財源を確保するための情報提供等は適宜行われている。
		南しりべし道の駅スタンプラリー	平成24年度	羊蹄山エリア行政連絡会議 小樽開発建設部	地域の最新情報をもっと多くの人知ってもらうため、南しりべし地域限定の道の駅スタンプラリーを開催。南しりべし地域の一部は、ニセコ羊蹄エリアとなっており、当該エリアとも連携。	
	後志観光連盟道内プロモーション「おいしいしりべし旬PR」事業	平成24年度	後志総合振興局、 小樽開発建設部ほか	大通ビッセにて、しりべしの旬の食情報が満載のNewパンフレットの配布やシーニックパネル展を実施した。		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)		報告者:小樽開発建設部		報告年月:2013/3/31			
ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
地域のとのふれあいを大切にした観光の推進	ニセコフェスティバル2012の開催	平成24年8月25日～10月8日	ニセコフェスティバル実行委員会(後志支庁、ニセコ町、倶知安町、蘭越町他)	ニセコ本来の魅力をお知らせし『ニセコファン』を確保し、倶知安・ニセコ・蘭越の農・商・観光事業者が協力し、各施設からさまざまなプログラムをご提供し、総合的な連携を強め『ニセコエリア』としてお客様をお迎えした。 ○主催:ニセコフェスティバル実行委員会 ●後援(順不同):後志総合振興局・ニセコ町・倶知安町・蘭越町・ニセコ町商工会・ニセコリゾート観光協会・倶知安観光協会・蘭越町観光協会・ニセコプロモーションボード・後志観光連盟		10	
その他	★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除に向けた調査等	平成24年度	倶知安町、蘭越町、京極町、ニセコ町、喜茂別町、真狩村	ニセコ羊蹄地域が国際的な観光地へ発展するための環境整備のひとつとして、人間と野生動物が安全に共存できる状況をつくるための生態系修復の試み。喜茂別町及びニセコ町へエリアを拡大展開し、寄生されたキツネのフンに含まれるエキノコックスの抗原(排泄物)の有無に基づいて寄生率を求めた。エリア代表者会議、及び行政連絡会議においても周知・協力体制の構築を図っており、エリア全体から北海道全域での取り組みとしての展開につながることを期待する。	エキノコックス駆除活動については、羊蹄山麓エリアの5自治体(蘭越、ニセコ、喜茂別、京極、倶知安)にて予算付けがされるなど、地域全体の取り組みとして認知されてきた。	11
	★シーニックバイウェイの地域内外への浸透に向けた取り組みの推進	地域住民等との協働による景観配慮型道路付属施設への改善、維持管理活動等の試行実施	平成24年度(継続実施中)	小樽開発建設部	ニセコ羊蹄エリアを訪れる旅行者および地域住民における同エリアがシーニックバイウェイのルートであることの認識度向上のため、地域活動団体や地域住民等と協働し、景観配慮型の道路付属施設のあり方等について検討を行い、改善を試行的に実施した。平成24年度は、これまでに実施された道路付属施設改善箇所について地域住民や関係行政機関等と評価するとともに地域協働による維持管理活動の実現に向けた検討会を倶知安町と喜茂別町で開催。	景観に配慮した道路空間のあり方及び維持管理体制の構築については、双方にとってメリットが生じるような仕組みや仕掛けづくりが必要である。	12

5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------	-----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動等を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。	<p>シーニックバイウェイ北海道の最大のメリットである広域連携という利点を生かしたなかで、各地域活動団体及び各自治体が連携した取り組みが多様化している。</p> <p>一方で課題としては、各種会議の形骸化とともに昨年度に引き続き後継者及び活動を支える人材の不足、地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度は、Facebookを活用したルートの情報発信を開始(平成24年12月)。現在、主催側11名(管理人)、常設閲覧者145名となっており、地域でしか発信できないリアルタイム情報を発信していく予定。 ●ブランドの形成・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ルート連携活動の一つとして地域資源の発掘調査(ヒヤクノメグミプロジェクト～タカラモノプロジェクト)を継続展開中。またシーニックランチプレートの開発に向けたメニュー考案やエージェントへのPRを視野に実行メンバーを中心に資源の活用・発信を継続していく。 ●人材育成の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ルート連携活動のシーニックナイトにて、地域住民や教育機関等との連携を図った。また個別活動においても同様に地域住民の参画をきっかけに、交流・連携の拡大を目指す試みを継続中。 	

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	報告年月: 2013/3/31
-------------------	------------------------------	-----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動等を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。	<ul style="list-style-type: none"> ・シーニックバイウェイ北海道の認知度を向上するため、行政連絡会議事務局が主体となり、新千歳空港や地下歩行空間でのロングランPRを実施した。実施したアンケート調査では、地下歩行空間でのPRによりシーニックバイウェイの取り組みを知ったとの回答もみられ、一定の効果があったことが推測される。 ・過年度に引き続き、行政連携による情報発信・人的支援の定着化が見られた。 ・また、今年度は新たに関係機関が連携することにより、実現した地域活動も見られ、今後も多様な組織が参加しているメリットを活かした地域活動の支援をめざす。 ・ルート活動の基盤・支援体制の強化に向けて、持続的な活動持続のために有益となる情報(助成金等)の提供・共有を着実に図っていくことが必要。 	